

3. 保健科学課（微生物）

主な業務は、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律および感染症発生動向調査事業に基づく細菌およびウイルス検査であり、3つの担当で実施している。

1) 細菌担当

平成24年度に実施した定期業務は、食品衛生法および環境衛生・環境保全関係の法令に基づく行政収去による各種細菌検査であり、表1に検体数の総括を示す。

表1 検体数総括

区 分	計	行政検査	
		保健所	その他
食品収去検査	1,298	1,298	
環境衛生関係検査	530	530	
環境保全関係検査	23		23
計	1,851	1,828	23

表3 環境衛生関係検体数および項目数

区 分	検体数	項目数計	項目					
			一般細菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	大腸菌	レジオネラ属菌	官能検査
プール水	119	236	119			117		
公衆浴場水	405	405					405	
リネンサプライ等	6	24	6	6	6			6
計	530	665	125	6	6	117	405	6

(1) 食品収去検査

食品収去検査は1,298件、3,827項目実施し、表2に食品分類別検体数および項目数を示す。

(2) 環境衛生関係検査

環境衛生関係検査はプール水、公衆浴場水、おしぼり（リネン関係）等の細菌検査を実施し、表3に検体数および項目数を示す。

(3) 環境保全関係検査

環境保全関係検査は、事業場排水の細菌検査を実施し、表4に検体数および項目数を示す。

表4 環境保全関係検体数および項目数

区 分	検体数	大腸菌群
事業場排水	23	23

表2 食品収去検査食品分類別検体数および項目数

食品分類	検体数	検査項目数計	生菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	サルモネラ	E. coli	大腸菌	O157	O26	O111	VTEC	腸内細菌科菌群	カンピロバクター	腸炎ヒブリオ	リステリア	ブ菌エンテロトキシシン	抗生物質	恒温試験	細菌試験	総菌数	腸球菌	乳酸菌	カビ	Klebsiella septempunctata	ノロウイルス
牛乳・加工乳	17	68	13	13	9	4								4			17	4			4					
乳製品	22	37	5	18												4							10			
アイスクリーム類	39	78	39	39																						
氷雪	13	36	13	13																			10			
清涼飲料水	45	90	45	45																						
魚介類	202	415	176	105	2		5	10				3			83										26	5
肉・卵類	159	632	7			158		81	113	81	81		1	85				25								
食肉製品	11	33	2	1	11	10	9																			
鯨肉製品	3	4	1	3																						
冷凍食品	26	61	26	21	3	6	5																			
弁当・惣菜類	411	1263	408	408	407	4		4	4	4	24															
菓子類	78	272	78	78	78	38																				
穀類・麺類	47	141	47	20	47		27																			
豆腐	35	69	35	34																						
漬物	57	274	23	1	1	41		55	45	44	44				17										3	
瓶詰・缶詰・レトルト	12	25	1	1	1														11	11						
野菜類	60	181	40	39	6	19		19	20	19	19															
その他	61	148	61	61	26																					
計	1298	3827	1020	900	591	280	46	155	192	148	148	27	1	89	100	4	17	29	11	11	4	10	10	3	26	5

2) ウイルス担当

平成 24 年度に実施した定期業務は、感染症発生動向調査事業に関わるウイルス検査、市民から依頼される HIV や風疹等の血清検査および二枚貝のノロウイルス検査である。

各試験検査の検体数を表 5 に示す。

表5 検体数総括

区分	計	行政検査		調査 業務
		保健所	その他	
感染症発生動向調査 事業ウイルス検査	103			103
HIV抗体調査	3,353	3,353		
クラミジア抗体検査	1,468	1,468		
風疹抗体検査	226	226		
二枚貝の ノロウイルス検査	7	5	2	
計	5,157	5,052	2	103

(1) 感染症発生動向調査事業ウイルス検査

感染症発生動向調査事業は、8 医療機関に 9 つの検体採取定点を指定して実施している。

平成 24 年度は表 6 のとおり患者 88 名、103 検体が採取され、ウイルス分離を行った（詳細は「Ⅷ 資料」に掲載）。

表 6 感染症発生動向調査事業検体数の推移

年度	平成 20	21	22	23	24
患者数	166	187	244	114	88
検体数	191	206	319	149	103

(2) HIV 抗体検査

昭和 62 年 10 月から、HIV (HIV-1, HIV-2) 抗体検査を保健所で受け付け、当所で検査を実施している。

平成 24 年度は 3,353 検体を実施し、このうちスクリーニング検査陽性の 18 検体については確認検査を行った結果、全て陽性であった。

平成 20 年度からの年度別検体数の推移を表 7 に示す。

表 7 HIV 検体数の推移

年度	平成 20	21	22	23	24
検体数	4,761	3,813	3,798	3,664	3,353
陽性数	7	8	16	16	18

(3) クラミジア抗体検査

平成 13 年 6 月から、クラミジア抗体検査を保健所で受け付け、当所で検査を実施している。

平成 24 年度は、1,468 検体を実施した（表 8）。また平成 20 年度からの年度別検体数の推移を表 9 に示す。

表 8 クラミジア検査状況

検体数	IgA 抗体			IgG 抗体		
	陽性	陰性	保留	陽性	陰性	保留
1,468	166 (11%)	1,241 (85%)	61 (4%)	208 (14%)	1,220 (83%)	40 (3%)

表 9 クラミジア検体数の推移

年度	平成 20	21	22	23	24
検体数	2,345	1,735	1,760	1,550	1,468
IgA 陽性数	239	197	188	173	166
IgA 陽性率	10%	11%	11%	11%	11%
IgG 陽性数	344	247	254	275	208
IgG 陽性率	15%	14%	14%	18%	14%

(4) 風疹抗体検査

昭和 52 年度以降、妊娠適齢期女性を対象とした風疹抗体検査を保健所で受け付け、当所で検査を実施している。

平成 20 年度からの年度別検体数の推移を表 10 に示す。平成 24 年度の抗体陰性率は、表 11 に示すとおり、11.5% (26/226) であった。

表 10 風疹検体数の推移

年度	平成 20	21	22	23	24
検体数	175	111	85	98	226
陰性率	9%	8%	8%	15%	12%

表 11 年齢群別風疹 HI 抗体価分布及び陰性率

年齢	HI抗体価								陰性率 (%)	
	<8	8	16	32	64	128	256	512≤		
≤19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
20~24	0	2	2	2	2	0	0	0	8	0
25~29	9	3	7	17	10	14	4	2	66	13.6
30~34	13	5	10	22	17	13	3	1	84	15.5
35~39	3	4	5	18	9	6	2	1	48	6.3
40≤	1	3	1	6	4	3	2	0	20	5.0
計	26	17	25	65	42	36	11	4	226	11.5

(5) 二枚貝のノロウイルス検査

ノロウイルス食中毒予防対策の一環として、平成 24 年 5 月および平成 24 年 11 月から平成 25 年 2 月にかけて二枚貝の取去検査を実施した。

7 検体の検査を実施し、1 検体が陽性であった。

3) 感染症担当

感染症担当が平成24年度に実施した定期検査は腸内病原菌検査、結核菌検査、梅毒検査および原虫・寄生虫検査であり、表12に検体数と項目数を示す。

表12 定期検査検体数総括

区 分	検体数	延べ項目
腸内病原菌検査	2,256	6,768
結核菌検査	16	32
梅毒検査	617	1,238
原虫・寄生虫検査	92	92
計	2,981	8,130

(1) 腸内病原菌検査

腸内病原菌検査の検査件数は 2,256 件で、赤痢菌、サルモネラ属菌（チフス・パラチフス含む）および腸管出

血性大腸菌の 3 菌種について、それぞれ病原菌の検索を行った。検体は健康診断等の一般検便で保健所からの依頼によるものである。表 13 に依頼別検体数を示す。

菌種別の陽性件数は、赤痢菌、サルモネラ属菌（チフス・パラチフス含む）および腸管出血性大腸菌は全てにおいて検出されなかった。

(2) 結核菌検査

結核菌検査は主に管理検診関連によるもので、市内の保健所から依頼があった16件について塗抹および培養検査を実施した。陽性は4件（*M. tuberculosis complex*）であった。

(3) 梅毒検査

梅毒検査は617件について実施した。検査方法はTPHA法、RPR法を同時に実施し、必要に応じてFTA-ABS法を実施した。陽性は30件（4.86%）であった。

(4) 原虫・寄生虫検査

原虫・寄生虫検査は、蟯虫卵 91 件、その他 1 件、計 92 件の依頼であった。

表13 腸内病原菌検査依頼別検体数

区 分	計	東	博多	中央	南	城南	早良	西
検体数	2,256	297	348	678	324	210	195	204